

第Ⅱ期「小規模企業振興基本計画」の骨子（案）

環境変化

社会

人口減少・高齢化、国内外の競争の激化
地域経済の低迷等の構造変化の進展
IT化による市場環境の変化

地域

過疎化による地域の弱体、
自然災害の多発・甚大化に伴う
事業継続リスクの増大

小規模事業者

経営者の高齢化、後継者不足
フリーランス等多様な小規模事業者の増加
人手不足の中で生産性の向上が急務

基本的考え方

事業者の持続的発展



地域の持続的発展

1. 地域を牽引する企業の創出

2. 地域のサプライチェーンの維持
災害等への対応強化

3. 地域のブランド化
産地産業の活性化

4. 地域に不可欠な公共的サービス
地域コミュニティの維持



都道府県・市町村・産業界といったステークホルダーとの関係を強化した支援体制の構築

4つの目標と12の施策

- ①需要を見据えた経営の促進
（1）ビジネスプランに基づく経営の促進、（2）需要開拓に向けた支援、（3）新事業展開や高付加価値化の支援
- ②新陳代謝の促進
（4）多様な小規模事業者の支援、（5）起業・創業支援、
（6）事業承継・円滑な事業廃止の推進、（7）人材の確保・育成
- ③地域経済の活性化に資する事業活動の推進
（8）地域経済に波及効果のある事業の推進（地域牽引企業の創出等）、（9）地域のコミュニティを支える事業の推進
- ④地域ぐるみで総力を挙げた支援体制の整備
（10）支援に向けた国と自治体の連携強化、（11）手続きの簡素化・施策情報の提供
（12）事業継続リスクへの対応能力の強化